

# 南島原市ニュース

令和5年5月25日

タイトル 南島原市防災訓練

自分たちが住む地域の危険性を知り、対応策を考えることを目的として、災害の歴史、危険な地域の状況とその対処法、住民による応急手当、初期消火などの防災訓練を実施します。

■日 時：5月28日（日）8：30～12：10

■場 所：深江ふるさと伝承館（深江町丁2260番地）

■参加団体（順不同）

深江地区町内会、気象庁 長崎气象台、国土交通省九州整備局 雲仙砂防管理センター、陸上自衛隊第16普通科連隊、自衛隊長崎地方協力本部、島原地域市町村圏組合南島原消防署布津分署、南島原市消防団深江地区団、社会福祉法人山蔭会 普賢学園

■その他：訓練項目およびスケジュールについては、  
添付資料を参照ください。

担当部署	総務部防災課	担当者	林田昭義
直 通	0957-73-6622	E mail	<a href="mailto:bousaikoutsuu@city.minamishimabara.lg.jp">bousaikoutsuu@city.minamishimabara.lg.jp</a>
詳しくは <small>☎</small>		検索ワード	
担当者 連絡先			

## 令和5年南島原市防災訓練実施要項

### 1 目的

市民を対象に、「自分たちが住む地域の危険性を知り、対応策を考える」という事を目的に、災害の歴史、危険な地域の状況とその対処法、住民による応急手当、初期消火などについて習得していただき、防災意識の啓発を図る。

### 2 主催 南島原市

### 3 参加団体

深江地区町内会、気象庁 長崎气象台、国土交通省九州整備局雲仙砂防管理センター、陸上自衛隊第16普通科連隊、自衛隊長崎地方協力本部、島原地域市町村圏組合南島原消防署布津分署、南島原市消防団深江地区団、社会福祉法人山蔭会 普賢学園

### 4 実施日及び訓練場所（訓練時間各会場 8:30～12:10）

- ・令和5年5月28日(日) 深江ふるさと伝承館（深江町丁 2260 番地）

### 5 訓練対象者・・・地域住民165名

※ 訓練参加者の集合時間について、避難所受付訓練を8:30から玄関ホールで開始しますので、玄関付近にお集まりください。

### 6 訓練次第

防災無線により8時30分「訓練 訓練、地震が発生し、溶岩ドームの崩落と、津波の恐れがあります、直ちに安全な場所へ避難してください。これは防災訓練です。」と放送し訓練を開始する。

#### (1) 避難所開設訓練(8:30～8:55)

※ 訓練参加者は、避難所受付訓練を8:30から開始しますので、深江ふるさと伝承館の玄関から入って受付を行ってください。

#### (2) 陸上自衛隊車両による逃げ遅れ者救出訓練(8:35～8:55)

逃げ遅れの要救助者有との情報で陸上自衛隊車両により各地域から救出を開始する。

#### (3) 社会福祉法人山蔭会 普賢学園による避難訓練(8:35～8:55)

地震により溶岩ドーム崩落の恐れがあり、普賢学園のマイクロバスにより入居者10名が避難訓練を実施する。

#### (4) 開会式(9:00～9:15)

- ・ 市長挨拶
- ・ 陸上自衛隊第16普通科連隊中隊長

- ・ 消防署長挨拶
  - ・ 訓練概要説明・・・その後一旦開会式を閉式し、引き続き防災講話に移る。
- ※ 地域住民の方については、椅子に着座した状態で行います。

(5) 防災講話(9:20～10:15)

- ・ 気象庁長崎気象台より「地震・津波について」の講話(9:20～9:50)を実施する。
- ・ 国土交通省九州整備局砂防管理センターより「雲仙普賢岳の現状について」の講話(9:55～10:15)を実施する。

(6) 各種訓練(10:20～11:55)

初期消火訓練、AED訓練、気象台による実験、及び避難所運営使用資器材取り扱い訓練を4班の班編成で実施する。

(7) 閉会式(12:00～12:10)

危機管理監 訓練講評

## 防災訓練種目について

1 避難所開設訓練(8:30～8:55) 【開会式前に訓練を実施する】(担当者8名)

各支所及び避難所担当職員により避難所を開設し、避難してくる住民の受付業務を行う。

- ※ 開会式までの待ち時間を利用して、若い頃に雲仙普賢岳災害を体験された4名の体験談をまとめた「記憶の伝承を」放映する。

2 陸上自衛隊車両による逃げ遅れ者救出訓練(8:35～8:50)

上大野木場、中大野木場、下大野木場、大野台、柴原、川原端の各自治会の方が逃げ遅れたとの情報により救出を開始する。(自衛隊車両の都合により変更あり)

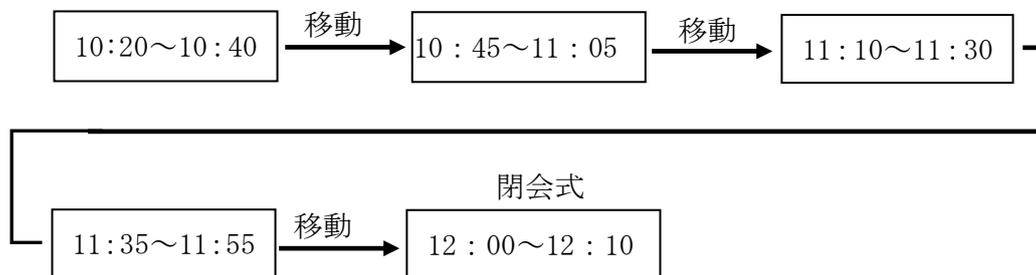
3 島原半島における地震及び津波について(9:20～9:50)・・・気象庁長崎気象台

令和4年10月産業技術総合研究所から、島原半島南東部の沖合において、30年以内にマグニチュード7.1程度の地震が発生する可能性が有ると試算結果が発表され、有事に備えるため、講話をお願いする

4 雲仙普賢岳の現状及び危険性について(9:55～10:15)・・・国土交通省雲仙砂防管理センター

雲仙普賢岳災害発生から32年を迎えようとしており、地域住民の方々は世代交代が進み、賢岳災害の認識が薄れようとしている中、雲仙普賢岳の現状及び溶岩ドーム崩落時の対応について市民の方々に認識していただくため、講話をお願いする。

- 5 初期消火訓練・・・南島原消防署布津分署  
火災が発生した時初期の段階で行う消火訓練であり、炎が天井まで届く以前の段階までが有効です。粉末消火器や水消火訓練器を使用し消火をスムーズに出来るよう訓練を行う。  
(初期消火訓練が済まれた方は自衛隊車両の展示をご覧ください。)
- 6 A E D訓練・・・南島原消防署布津分署  
心肺停止の可能性のある方は、1秒でも早い救命処置が必要です。A E Dの必要性及びその対処法について研修を行う。
- 7 气象台による実験・・・火山噴火の成り立ち、液状化地震など
- 8 避難所運営で使用する防災用品取扱い訓練  
パック式トイレの組み立てや、ベットの組み立て訓練などを実施します。
- 9 展示について  
(1) 自衛隊車両展示 軽装甲機動車、高機動車2種類  
(2) 防災用品展示 防災非常食、非常用照明、電気自動車からの給電展示(パワームーバー)など
- 10 各種訓練タイムスケジュール



- 1班 ①初期消火訓練—②防災用品体験—③气象台実験コーナー—④A E D訓練  
2班 ②防災用品体験—③气象台実験コーナー—④A E D訓練—①初期消火訓練  
3班 ③气象台実験コーナー—④A E D訓練—①初期消火訓練—②防災用品体験  
4班 ④A E D訓練—①初期消火訓練—②防災用品体験—③气象台実験コーナー

各訓練所要時間を20分とし、各班の移動はI P無線により各班誘導員へ指示を行う。

※ 各班の参加者の移動については、深江地区消防団員(各班2名、班名を入れたビブスを着用)の誘導により訓練を実施する。

## 11 その他

訓練参加者には、非常持出袋に非常食料品や防災グッズを入れて渡す予定です。